

## 「一年のしめくくりに 人を想う」

あわただしい年の瀬を迎えた。振り返れば、この一年のあいだにも、さまざまに出来事や出会いがありました。喜びの時もあれば、戸惑いや悩みや、悲しみの日もありました。そんな時、誰かの言葉や行動にどれほど支えられたことでしょう。

考えてみると、人権とは特別なことではなく、「相手の立場になつて考える」「気づいたことをそつと行動にうつす」など日々の、人を想う気持ちの中にあります。

12月4日から10日は「人権週間」です。この機会に、自分のまわりの人との関わりを振り返つてみませんか。自分が体験

した喜びや困難。そのひとつひとつの中に、誰かに救われた瞬間はなかったでしょうか。それはきっと、相手があなたを「ひとりの大切な人間」として尊重してくれたからこそ、生まれたあたたかさです。人権が守られる社会というのは、特定の人たちだけのものではなく、あなた自身も大切にされ、守られる場所なのです。

新しい年も、互いを想い合う一年にしたいものです。家族や友人、職場や地域の中でも、困っている人に声をかける、異なる考え方を受け入れる、感謝の気持ちを言葉にする。そんな小さな行いが誰かにとっての大いな励ましになります。「ありがとう」「おつかれさま」のひとことが、心をほつとさせ、互いを認め合う関係を広げていくのではないでしょか。

社会教育指導員

野中  
久美子

## 市交際費の支出状況



令和7年10月分

支出別種	区分	件数	金額(円)
弔慰	今月分 累計	0 45	0 107,800
見舞い	今月分 累計	0 0	0 0
御祝	今月分 累計	8 32	32,000 147,900
賛助	今月分 累計	0 2	0 13,284
激励金	今月分 累計	0 0	0 0
接遇	今月分 累計	2 7	6,633 101,373
会費	今月分 累計	0 14	0 71,080
その他	今月分 累計	0 2	0 7,645
合計	今月分 累計	10 102	38,633 449,082

※くわしくは市ホームページに掲載しています

問い合わせ

総務課 秘書係

☎0952-75-2115

## 香月 正則の 市長日記

11月19日 記

市長となり緊張することが多く、いつもドキドキな場面がありますが、その一つに創建以来300年以上にわたり受け継がれてきた多久聖廟の釀菜があります。多久聖廟は、1708年(宝永5年)に多久茂文公が孔子像を安置し、領民に「敬」の心を培わせるために建てた孔子廟です。建築様式は、禅宗様仏堂形式と呼ばれる我が国の代表的な建築様式ですが、彫刻や文様は中国的な雰囲気を出し、現在は、国指定重要文化財として大切に保全しています。

その伝統行事である釀菜は毎年4月18日(春季)と10月の第4日曜日(秋季)に執り行つており、県の重要無形民俗文化財にも指定されています。儀式を司る献官、祭官・掌儀・贊者・祝者などで孔子像や四人の弟子である顔子、曾子、子思子、孟子の四哲像にお供え物を捧げます。また、雅楽の演奏は市職員

の衣装を纏っています。この儀式で献官は市長が務めることとなつており、多くの所作を覚えるために収録された映像を何度も見返し、個人指導も受けました。

廟内で酌を洗う、香を焚く、甘酒を供えるなどの多くの所作を通し思つたことは、釀菜は一つの祭事だけと思うのではなく孔子や顔子、曾子、子思子、孟子に思いを馳せるひとときであり、創建以来300年以上続いた歴史の一部になつたことを感じました。

多久茂文公がこの地に多久聖廟を建立した意義を踏まえ、市民のみなさんとともに多久市を創つていきたいと思います。

